

①.一体的利活用エリアの想定

ディスカッション内容

- 南北の軸線を踏まえた新本庁舎低層部・市道表小路線・勾当台公園市民広場が、一体的利活用の中心となるエリア。
そこから勾当台公園いこいの広場・歴史の広場や定禅寺通等を含めた、より広域なエリアといった段階的なものと考えてはどうだろうか。
- 新本庁舎低層部で賑わいが完結するのではなく定禅寺通や一番町を含めた賑わいが作れるような連携は必要である。
- つなぎ横丁との連携や仕掛けも必要である。
- 勾当台公園のいこいの広場・歴史の広場も連携すべきエリアと考えても良いのでは。

一体的利活用の中心となるエリアについては、南北の軸線を踏まえた新本庁舎低層部と勾当台公園市民広場（にぎわい広場）、市道表小路線とする。

いこいの広場、歴史の広場、定禅寺通、つなぎ横丁等の周辺エリアは、賑わいの波及や経営・運営の観点からも連携すべきエリアとして引き続き検討を進めていく方向性とする。



②.一体的利活用エリアでの活動（アクティビティ）の想定

ディスカッション内容

- 既存のイベントとの連携や仙台を題材にしたイベントなど、テーマ性のあるイベントが行われると良い。
- 学びと遊びの融合など、誰もが参加しやすいイベントが行われると良い。
- 日常と非日常の賑わいが両立した空間が実現できると良い。

コーディネーターおよび既存イベント等との連携の必要性がある。

③.マネジメント手法や運営主体の想定

主な意見

- 運営のために仙台市が目指す姿を明確にする必要がある。
- 一体的エリアを対象とした組織の中には、デザインやファイナンスなど専門的な役割を持つ部門が存在し、第三者機関が見守る構図が望ましい。

本市で現実的に導入可能かどうか精査が必要であるため、この場所に適した組織や意思決定等のあり方を引き続き検討していく。